

令和4年7月20日

保護者の皆様

岸和田市立東葛城小学校  
校長 京 極 清

## 通知表『あゆみ』について

### ◎はじめに

学習指導要領では、児童に生きる力を育むことを目指し、「基礎的・基本的な知識、技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成及び「主体的に学習に取り組む態度」を養うと明記されています。

これをもとに、本校の通知表『あゆみ』では「学習のようす」の「観点とめあて」を作成し、その項目ごとに、子どもたちがどの程度到達できているかを評価しています。

### ◎学校の基本的な考え方

『あゆみ』は、子どもたちがそれぞれ持っている可能性を引き出し、さらに「がんばろう」という意欲を持たせることを願って、学習や生活における足あとをご家庭に連絡するものです。従って、保護者の方には『あゆみ』が子どもたちを励まし、子どもたちの力を一層伸ばしていくものであることを、ご理解いただきたいと思えます。

また、子どもたちの成績を評価することは、一つの区切りではありますが、決して終点ではありません。これを新たな出発点として、一人ひとりの子どもたちがより一層学力を伸ばし、よりよい人間になろうとする「手だて」として、役立てていきたいと考えています。

今後ともどうぞ、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

### ◎通知表の見方

#### 1. 「学習の状況」の評価

- 各教科の観点ごとに、それぞれのめあてを示しています。そして、各観点到に照らして学習の到達度を評価しています。

- 2～6年生・・・各教科とも「よくできる」「できる」「がんばろう」の3段階で評価しています。  
1年生については、「できる」「がんばろう」の2段階で評価しています。
- 5・6年生は令和2年度より外国語が教科と位置づけられましたので、他教科と同様の評価を行っています。

「よくできる」・・・十分到達できていると判断できるもの  
「できる」・・・おおむね到達できていると判断できるもの  
「がんばろう」・・・努力を要すると判断できるもの

※ペーパーテスト、実技テストだけでなく、授業中の発言内容、ノートや学習プリントの記入内容、作品、具体物を用いた活動の様子、問題解決への意欲・態度等から総合的に判断します。

#### 2. 「特別の教科道徳」、4年以下の「外国語活動」、3年以上の「総合的な学習の時間」の評価

特別の教科道徳は年1回、3・4年の「外国語活動」と3年以上の「総合的な学習の時間」は毎学期に、内容や活動の様子、進歩の状況などについて文章で表記しています。本校では義務化されていない1・2年生の外国語活動を行っています。その様子も3・4年同様表記しています。

#### 3. 「所見」

学校での集団生活を通して、子どもたち一人ひとりが人間形成をめざす上で大切と思われる点を、また、クラスでの個人的な活躍や、学習の様子も含め、子どもたちの成長について、文章で表記しています。

ひとりひとり子ども自身の活動の記録です。

### ◎通知表の様式

令和2年度より通知表をPCデータ化し、1学期と2学期の『あゆみ』はPPC用紙で印刷して渡しきりとなります。新学期に押印し返却する必要はありません。3学期の終了時点で、1～3学期のすべての評価を記載した『あゆみ』を専用用紙に印刷しお渡ししますので、それをご家庭で保存してください。